

先日はてがたんにご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回1月のてがたんは、3月11日(土)で、「春をさがそう」がテーマです。ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見は、3月5日(日)の9:30からです。日にちをお間違えの無いようによろしくお願いいたします。

## 2月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道→けやき広場
- 観察日時と天気：2017年2月11日(土) 10:00～12:00 晴れ
- 参加人数：23人(大人20人、子ども3人)
- 市民スタッフ：8人 (伊東茂子、染谷迪夫、石原直子、木村稔、小泉伸夫、弘實さと子、保田行弘、湯瀬一栄) ※太字は今月の案内人
- 鳥博職員：2人(斉藤安行・美濃亜理彩)

## 観察した生き物の記録

### 【鳥類】

カモ科：オナガガモ、コガモ／カイツブリ科：カイツブリ／ハト科：キジバト／ウ科：カワウ／サギ科：アオサギ、ダイサギ、コサギ／クイナ科：バン、オオバン／カモメ科：ユリカモメ／タカ科：ミサゴ／カワセミ科：カワセミ／モズ科：モズ／カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス／シジュウカラ科：シジュウカラ／ヒヨドリ科：ヒヨドリ／メジロ科：メジロ／ムクドリ科：ムクドリ／ヒタキ科：ツグミ／スズメ科：スズメ／セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ／ホオジロ科：ホオジロ、アオジ／外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

### 【昆虫・クモの仲間】

チョウ目：ジャコウアゲハ(さなぎ)、チャミノガ(さなぎ)、イラガ(繭)、アオイラガ(繭)、ヒロヘリアオイラガ(繭)／ハエ目：オオクロバエ／カマキリ目：オオカマキリ(卵)

### 【は虫類】

ニホンカナヘビ(モズのはやにえ)

### 【草の花】

キク科：セイヨウタンポポ、ノゲシ／ノボロギク／オオバコ科：オオイヌノフグリ／タデ科：イヌタデ／カタバミ科：オッタチカタバミ／シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ／アブラナ科：ナズナ、タネツケバナ／ツバキ科：カンツバキ、ヤブツバキ／バラ科：カワツザクラ(品種名)／ハンノキ科：ハンノキ

# 観察した生き物の記録



今回のてがたんのテーマは「気にならない木を気にしてみる冬の散歩道」でした。樹木の冬芽や、樹木で生活する生き物をじっくり観察した後、手賀沼周辺の野鳥を観察しました。



今月の案内人 伊東茂子さん 染谷迪夫さん



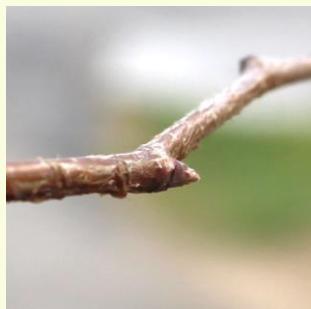
①コブシの花房。中身を割って匂いをかいでみました。



②コブシに付いていたジャコウアゲハのさなぎ。



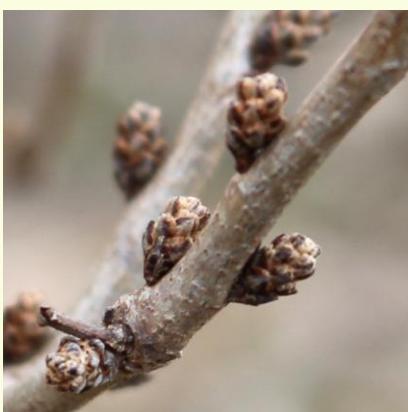
③カンツバキの花には、メジロの吸蜜の足跡が付いていました。



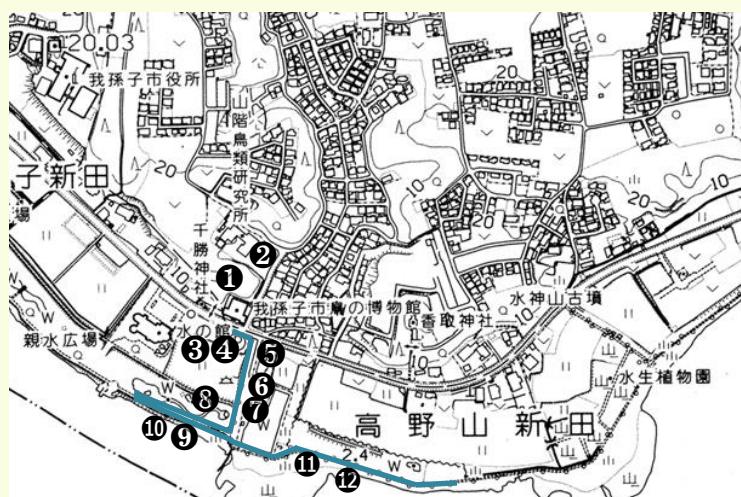
④外側を向く紡錘型のケヤキの冬芽。



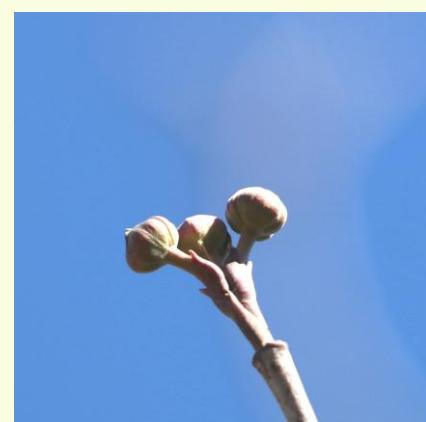
⑤マデバシイの木に刺さっていたモズのはやにえにされたニホンカナヘビ。



⑥中国原産のハナズオウの冬芽。小さな房が集まったような形をしています。



歩いたルートと観察した生き物



⑦先端が尖った球形の花芽が特徴のハナミズキ。球形の外側は花びらのようながくになります。



⑧ハンノキは花序以外に冬芽や果実も観察できました。



⑨遊歩道沿いのは“カワツザクラ”の花芽が開き始めてきていました。



⑩手賀沼水面の鳥の観察中に近くのサクラに止まったカワセミ。



⑪トイレ近くのヨシ原でカイガラムシを食べるオオジュリン。



⑫遊歩道沿いの樹木に止まったモズのオス。

## 今月の鳥 ユリカモメ

### チドリ目カモメ科

小形のカモメの仲間、我孫子市では主に冬に見ることができます。ユリカモメはカモメの仲間の中でも特に内陸部の湖沼などにも飛来します。

成鳥の嘴と脚は赤いですが、幼鳥では黄色みがかかった色をしています。また、幼鳥は尾羽の先端が黒いことや、翼上面の茶褐色の幼羽も特徴です。春には頭部の黒い夏羽の姿も見られることがあります。注目して観察してみましょう。



着水したユリカモメの幼鳥

てがたんにご参加ありがとうございました。次回もお待ちしております。